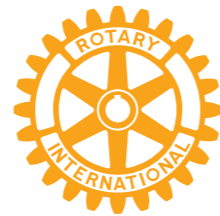


2015-2016 ガバナー月信

GOVERNOR'S Monthly Letter 2

Rotary
District 2510



国際ロータリー第2510地区 2015-2016年度ガバナー 嵯峨義輝

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
e-mail: rid2510@nifty.com <http://rid2510.org>



2015-2016年度 国際ロータリーのテーマ

「世界へのプレゼントになろう」

Be a gift to the world



国際ロータリー第2510地区 2015-2016年度 地区目標

1. 会員増強と維持率向上の推進

会員数5%純増

2. オンラインツールの利活用の推進

「ロータリークラブ・セントラル」「My Rotary」への登録、利活用推進
ウェブサイトやSNSを活用した公共イメージの向上

3. 人道的奉仕活動の継続と推進

ポリオ撲滅、復興支援、国際奉仕活動の継続と推進

4. ロータリー財団への理解と協力支援の継続

ロータリー財団に関する情報発信
直接的・間接的寄付の継続

**第2510地区
重点課題**

1. クラブ戦略計画への支援

2. 新会員のフォロー支援

3. クラブサポートの強化

Contents

●ガバナーメッセージ	1
●ロータリー財団地域セミナーに参加して	2
●国際奉仕検証ツアー報告	3
●2016-2017年度RIテーマ発表	5
●ガバナーノミネー決定宣言	6
●ロータリーコーディネーターニュース	7
●ガバナー公式訪問報告	8
●ロータリー、来し方行く末	13
●2016年 韓国・ソウル国際大会のご案内(最終)	14
●大韓民国 RI第3700地区・地区大会のご案内	16
●ソウルでの「第17回ロータリー国際囲碁大会」のご案内	17
●米山寄付・ロータリー財団寄付	18
●ポリオプラス委員会より/文庫通信	19
●新会員の紹介/米山奨学生のご紹介	20
●地区カレンダー	21
●出席率・会員数	22



2月に思うこと

国際ロータリー第2510地区

2015-2016年度ガバナー **嵯峨義輝** (岩見沢RC)

1月13日にパキスタン クエッタのポリオ予防接種センターの外で警備にあっていた警官ら少なくとも15名が爆弾攻撃により命を落とされたというニュースが伝わってまいりました。ポリオ撲滅まであと少しとなった今日ですが最後の2カ国の最前線での予防接種の現場は大変な危険に晒されている事を改めて認識させられました。私達にできるポリオプラスへの協力を通して予防接種従事者への支援も続けていきましょう。

そのような中、2月は平和と紛争予防/紛争解決月間です。世界平和は誰しもが願うものです。しかしながら今日まで世界各地で紛争の絶えない日が続いています。今必要なのは訓練を受けた平和構築のエキスパートです。ロータリーでは2002年ロータリー平和センタープログラムを開始しました。ロータリー平和センターの使命は理論と実地研修を合わせた教育と世界的ネットワークの活用を通じて平和構築に必要とされる専門知識とスキルを養う機会を提供し、平和の担う手となる人材を育てる事とされています。国際関係、平和・紛争解決分野の職歴を有し、国際的または地域社会での人道的活動や平和活動に取り組む熱意のある人の中からロータリー平和フェローが選ばれフェローシップが提供されます。平和フェローは卒業後、国際機関、政府・地域団体など様々なレベルでリーダーシップを発揮し、平和の担い手として貢献していきます。ロータリークラブには対象となる人物の推薦・資金

的支援も要請されています。今一度皆様のご理解を宜しく願います。

さて2月はロータリーの誕生月です。1905年2月23日、ポール・ハリス、シルベスター・シール、ガスターバス・ローア、ハイラム・ショーレーの4人がシカゴのノースディアボーン街の一室で初めての会合を開いてから111年がたちます。今一度ロータリーの歴史を紐解き自分たちのクラブの歴史も再確認する良い機会かもしれません。地区では幸い昨年度羽部ガバナーのもとと塚原パストガバナーが地区史編纂委員長を務められ、立派な「地区史II」をまとめて頂きました。貴重な資料としては勿論、歴史の部分も読みやすく執筆して頂いています。今一度じっくりと目を通していただければと思います。2016-2017年度のRIテーマも発表されました。いよいよ人道的奉仕を前面に打ち出したテーマと感じます。国際ロータリーという組織として力を発揮していく重点事項です。それと同時に各クラブの皆様はそのマチ、地域に根差した活動さらには職業を通しての奉仕を日々行われています。この2月23日を契機に今一度自分たちのロータリーを考えてみるのも良いのではないのでしょうか。

今年度私達に残された時間は5か月となりました。ここまでで世界へのプレゼントになれているのか自信はありませんが最後まで世界へのプレゼントになるべく全力を尽くしてまいります。引き続き宜しくお願いします。



ロータリー財団地域セミナーに参加して

地区ロータリー財団委員会

委員長 **遠藤 秀雄** (登別RC・PG)

2015年12月1日(火)、ホテルグランパシフィックLE DAIBAでロータリー財団地域セミナーが開催された。冒頭の挨拶で、田中作次ロータリー財団管理委員はポリオと貧困について語られた。引き続き、ポリオ撲滅のためのDDF寄贈に対する感謝状授与があり、3ゾーンの中から16地区が選ばれた。我々の第2510地区もDDF寄贈42,000ドルで表彰を受けた。しかし上には上があるもので第2650地区は50万ドルの寄贈で、世界最高であった。

RI理事会の報告：杉谷卓紀RI理事は財団の経費削減の気運があり、今回のセミナーには管理委員長は代理出席者として田中作次氏を指名した。一時はRI会員の減少が続いたが会員増強の効果が出てきて、アメリカ、日本でも増加に転じている。財団管理委員も田中作次氏から北清治氏に変更予定である。各地区の研修会にはコーディネーターを活用して欲しいと要請された。

ロータリー日本財団の現況は千玄室理事長に変わり渡辺好政副理事長から説明があり、グローバル補助金奨学生は平成26年度留学国は米国7、英国9、カナダ2、フランス2、オーストラリア1、ドイツ1、香港1の23名でその重点分野は疾病予防と治療11、平和と紛争予防7、経済と地域社会の発展6、水と衛生2、母子の健康1であった。

平成26年度寄付状況及び税制上の優遇措置についての説明もあったが、財団ウェブサイトで開催されているので閲覧いただきたい。

ポリオ撲滅の現状と今後はポリオ撲滅第IIゾーンコーディネーター坂本俊雄氏からRIが組織としてポリオ免疫活動を開始したのは1979年のフィリピンからであり、1985年に「ポリオプラス」活動を開始、1988年に経口ポリオワクチン接種を開始、当時死亡患者数は160ヶ国以上、35万人と推計されている。2015年11月現在ポリオ発生状況は、パキスタン38例、アフガニスタン13例のみとなった。1985年～2018年までの確定資金の内訳は総額117億95百万US\$、各国政府などの拠出が中心で全体の73%を支出しているが、民間団体の寄付ではビル&メリングゲイツ財団の19億3千万US\$がトップ、RIは13億3千万US\$で第2位である。これまでに25億人を超える子供達が経口ワクチン投与を受けている。ポリオが撲滅されない限り再び世界的な流行が起こる可能性があり、ポリオの発生のない国でも現在も予防接種を続けている。

ロータリー平和センターの現況は、辰野克彦ホストエリアコーディネーターが説明をされた。平和活動に貢献する人材を育てるロータリー平和フェローシップは専門教育を受け、実践的な知識やスキルを身につけて、難民支援や紛争、災害後の復興支援等さまざまな活動に携わっている。日本にあるロータリー平和センター(国際基督教大学)は2002年度から活動し、卒業生は100名となり世界各地で活躍している。また世界中の平和センターから飛び立ったフェローは619名にも及んでいる。平和への歩みは遅々たるものかもしれないが、これにロータリーが育てる平和フェローに未来の夢を託したいと結ばれた。

午後からはロータリー財団奨学生の留學生活の報告があったが、いずれもロータリーのネットワークや手厚い人的サポートが心強く、そして大きい手助けとなったことで感謝されていた。

我々は普段の生活の中では隣近所や国内の動きばかりが気になるが、地域セミナーに参加してみると意識なくともグローバル化の波の上に居る事を実感させられる。ロータリアンとして国際的貢献の必要性を再認識した。



ロータリー財団から当地区への感謝状



国際奉仕検証ツアー報告

地区国際奉仕委員会

委員長 **松原重俊** (砂川IRC)

日頃から地区国際奉仕活動にご理解とご協力を頂いておりますことにお礼と感謝を申し上げます。当委員会は、地区ロータリー財団委員会の協力のもと、VTT委員会とともにグローバル・グラント (GG) によるタイ東北地区ロイヤルキングスクールで職業訓練支援事業を実施しています。今回も、その実施予定校を訪問し先生や生徒達との交流が予定されています。今年度の検証ツアーは、バンコクで発生した爆弾テロの影響を考慮し、バンコクを外した旅程としチェンマイを経由とした日程に変更しましたが、その後、タイ国内便のフライトキャンセルがあり、再度、検証日程を変更するなど出発間際まで大変な状況の中での実施となりました。

検証ツアーは、12月5日(土)～12月10日(木)の6日間の日程でタイ国2地区(第3340地区ノンカイ、第3350地区ブンカーン、チェンカム)を訪問しました。嵯峨義輝ガバナーはじめ20名が千歳からソウル経由でチェンマイに向かいました。

6日は、朝からバンコククロントイRCとのグローバル補助金 (GG) による医療機器支援事業「Rotary Project in providing 2 Hemodialysis Machines, Accessories, Nurses' Training and Awareness's Seminar to Chiangkham Hospital-Phayao Province」の贈呈式のためにチェンマイから東に230kmのパヤオ県のチェンカムへバスで移動です。第1の検証地 Chiang Kham Hospital に人工透析2台の贈呈と看護師さんへのトレーニングを含んだGGです。この病院は、先生14名、地域住民30万人の中核病院であり、高血圧、腎臓病等の成人病の患者さんが多く来院される病院です。人工透析器の検証とともに使用状況等の説明を受けた後、夜は、病院関係者の皆様とバンコククロントイRCの会長、ソンブンさんなどメンバーの皆様との懇親会でその友好を深めました。

7日は、朝からチェンマイに戻り、チェンマイ地区のガバナー始めロータリアンとの昼食会です。今回は、チェンマイ地区での事業検証はありませんでしたが、いつものメンバーの皆様とさらなる友情を深めることができました。夕方にノンカイに移動、恒例のノンカイの皆様との屋外でのガーデンパーティーです。今年は何と知事公館での懇親会となり、素晴らしいロケーションとおいしい料理、ノンカイの皆様温かいおもてなしを受け、一時旅の疲れを癒すことができ、ノンカイのメンバーの気遣いに感謝です！

8日は、朝から職業訓練支援を実施しているポンピザンのロイヤルキングスクールを訪問しGGの進捗状況の確認とともに札幌手稲RC(奨学金基金)はじめ千歳セントラルRC(新千歳空港での募金)から、何か良い事をした子に対して奨学金事業(Good Students)を行いました。その後、料理担当の札幌北RCの大浦職業訓練講師の実演が行われました。大浦さんには、忙しい仕事の合間の中で、昨年度から何度も当地を訪れ子供たちの将来のために尽力頂いております。現在、実際に子供たちへ指導をされる地元ホテル等の料理長たちに指導方法を教えるとともに、授業のカリキュラム作成など準備を進めて頂いております。そして、洋裁の札幌手稲RCの渡辺職業訓練講師にも今回参加頂きましたが、昨年、洋裁の指導を受けた生徒達が自ら作った衣装に身をまとい講師の渡辺さんのもとに会いに来てくれるサプライズもあり、ミシンも準備され、洋裁部門も準備が整いつつあります。また、職業訓練事業を円滑に進めるための基金として「Dream Foundation」を新たに作りました。この基金は、地区大会の際に沢山の皆様からのカレー募金をもとに設置されました。皆様に感謝申し上げます。昼食は、子供たち手造りのオムレツもいただく事ができ、とても和やかな訪問になりました。午後からは、ノンカイと縁の深いラオスの首都ヴィエンチャンに友好大橋を渡り訪問しました。毎年ノンカイを訪問していますが、ラオスに行くのは初めてです。雑踏とした街並

みの中にヨーロッパ系の外国人が大変多く、夕食も素晴らしい雰囲気のお店で和やかな中で参加頂いた皆さんとの大変楽しい一時でした。

9日は、最後の検証地ラオスとの国境沿いのブンカーンにバスで向かいました。3名程度の先生の小規模(150~300人の外来)の3つの病院に浄水装置9つを設置しました。小さな浄水装置ですが、患者さんや職員の皆様の健康管理の一助になると思います。病院関係者の皆さんの大変な歓迎の中、まだまだ安心安全な水を必要としていることを改めて感じる訪問となりました。すべての検証を無事終了し、ノンカイからチェンマイへ移動。夜中の便でソウル経由で新千歳へ向かい10日の朝、無事到着しました。大幅な検証日程の変更にも関わらずスムーズな検証のために尽力頂いた、タイ国のロータリアンの皆様には感謝しております。

今回の訪問を通して今後とも、子ども達の明るい未来のために有意義な事業になるようさらに準備を進めて行きたいと思っています。今回は、当初の検証予定の大幅な変更があったり、陸路の移動が多く大変タイトなスケジュールになりましたが、参加頂いた嵯峨ガバナーはじめメンバーの皆様は改めてお礼を申し上げます。今後とも地区国際奉仕事業にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

2015-2016国際奉仕検証ツアー参加者(敬称略)

嵯峨義輝ガバナー(岩見沢RC)、田中公一(留萌RC)、福井敬悟(札幌手稲RC)、渡辺里代子(札幌手稲RC)、大浦隆司(札幌北RC)、光川眞量(札幌はまなすRC)、トーキル・クリステンセン(札幌南RC)、白崎邦彦(札幌東RC)、中園直樹・洋子(札幌北RC)、松永暢昭(深川RC)、富岡 豊(静内RC)、江本勝典(岩見沢RC)、谷川淑郎(余市RC)、燕 美雪(留萌RC)、西方洋昭(岩見沢RC)、齋藤昌一(札幌北RC)、谷口正樹(滝川RC)、田口 廣(千歳セントラルRC)、松原重俊(砂川RC)



小型の浄水装置



奨学金事業



ロイヤルキングスクールにて



ノンカイの皆様と



人工透析装置



職業訓練用ミシン



職業訓練事業



浄水装置贈呈式



人工透析贈呈式

2016-17年度テーマは

「人類に奉仕するロータリー」 ROTARY SERVING HUMANITY

米国サンディエゴで開催中のロータリー国際協議会で、18日、ジョン F ジャーム会長エレクト（米国テネシー州、チャガヌーガ・ロータリークラブ所属）が講演し、次年度のテーマ「人類に奉仕するロータリー」を発表しました。

ロータリー創始者ポール・ハリスが「人生の最大の目的は人類に奉仕すること」と信じていたことに触れ、ロータリーの会員であることはそのための「大きな機会」だとジャーム会長エレクトは述べます。「ロータリーを通じて社会に貢献する大きな機会、人類へのロータリー奉仕を通じてより良い世界を築く機会なのです」

発展途上地域におけるきれいな水の提供、紛争地域での平和推進、基本的教育と識字率向上を通じた人びとのエンパワメントなど、世界中のロータリー会員はさまざまな奉仕活動にあたっています。その中でも特に重要なのがポリオの撲滅であると強調した会長エレクトは、ナイジェリアとアフリカ全土における野生型ポリオウイルスの感染抑止という昨年の歴史的できごとにも触れました。ナイジェリアがポリオ常在国リストから除外された現在、常在国はアフガニスタンとパキスタンのわずか2カ国。ポリオが撲滅されれば、人類史上撲滅された病としては天然痘に続き2番目となります。

「ロータリーは今、岐路に立っています。来年度は、世界で最後のポリオ症例が報告される年となるかもしれません。そうなれば、ロータリーの歴史において最も重要な年となります」とジャーム氏。いずれポリオ撲滅が実現したときについて、今から準備しておくことが極めて重要だと訴えます。「ポリオ撲滅におけるロータリーの貢献を十分認識してもらうにはどうしたらいいか。この成功を、その後数十年にわたって、他団体との協力、会員増強、より野心的な奉仕活動にどうつなげていくか、ということです」

さらに、出席したガバナーエレクトに向け、ポリオ撲滅でロータリーが果たした役割についてクラブと地域社会で情報を広げるよう呼びかけました。「社会貢献をしたい人たちが、ロータリー入会こそが世界を変える方法だと考えるようにすること。そのためには、クラブにその機会を提供する用意がなければならないのです」

ロータリーのイメージ向上だけが会員増強の方法ではない、と会長エレクト。「ロータリーがさらに前進するには、意欲と思いやりと知恵にあふれた人たちがもっと必要です。若い人たち、退職後間もない人たち、現役で仕事している人たちが皆、ロータリーに入会して活動したいと感じるような、柔軟性のあるクラブが必要なのです」



次年度のテーマ「人類に奉仕するロータリー」を発表する
ジョン F. ジャーム国際ロータリー会長エレクト。

写真提供 国際ロータリー / Monika Lozinska

ガバナーノミニー決定宣言

2018-2019年度国際ロータリー第2510地区ガバナーノミニーの選出については、地区ガバナー指名委員会より小山 司君（札幌RC）が選出された旨、報告を受けました。

国際ロータリー細則第13条第2節（13.020.ガバナーの指名手続）に基づき、小山 司君を2018-2019年度第2510地区ガバナーノミニーとすることを決定し、ここに宣言致します。

2016年2月1日

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 嵯 峨 義 輝

2018～2019年度 ガバナーノミニー



会 員 名	こ やま つかさ 小 山 司（札幌RC）
生年月日	1947（昭和22）年4月5日生（68歳）
職業分類	医学研究・教育 北海道大学名誉教授 医療法人重仁会大谷地病院臨床研究センター長
学 歴	1973（昭和48）年 北海道大学医学部卒業
職 歴	1993（平成5）年9月 北海道大学医学部教授 2000（平成12）年4月 北海道大学大学院医学研究科教授 2012（平成24）年4月 北海道大学名誉教授、 医療法人重仁会大谷地病院臨床研究センター長
ロータリー歴	1997年2月 札幌ロータリークラブ入会 2003～2004年度 国際奉仕委員長（理事） 2008～2009年度 副会長兼クラブ奉仕委員長（理事） 2010～2011年度 クラブ会長 2015～2016年度 地区ガバナー補佐（第4グループ担当） マルチプル・ポール・ハリス・フェロー（1回） 米山功労者マルチプル（4回）

ロータリーコーディネーターニュース

2016年2月号

日本ロータリー100周年に向けて

第2ゾーン・ロータリーコーディネーター

金 杉 誠 (横浜西RC・PG)

日本のロータリーは1920年10月、東京ロータリークラブが誕生したことに端を発します。初代会長は米山梅吉氏、幹事は福島喜三次氏が選ばれましたことは、皆様良くご承知のことと思われまふ。従いまして東京オリンピックの年2020年に、私たち日本のロータリーは100周年を迎えることとなります。もう既にロータリーの友では、「100周年記念誌編纂委員会」が神崎正陳委員長の下立ち上がっておりますし、「日本のロータリー100周年委員会」も北清治準備委員長(直前RI理事)の下、東京ロータリークラブとの打ち合わせ等の活動を開始しております。

勿論100周年に向けて日本のロータリー活動を一段と活性化することが、私たちロータリアン一人一人に課せられた最大の課題であることは言うまでもありません。そのような趣旨で、昨年12月に杉谷RI理事が召集され、ラビンドランRI会長はじめとして世界と日本のシニアリーダーが集まって、東京で開催されました、ロータリー研究会に於きましても、第1セッションで「日本のロータリー100周年に向けて」と言うパネルディスカッションが開かれました。このセッションでは北直前理事がモデレーターを務められ、共に3年目のコーディネーターであります、第1ゾーン岩渕RRFC、第3ゾーン岩永RPICそして私がパネリストを務め、それぞれのコーディネーターから見た現状の課題と提言を、90分間に亘ってお話をさせて頂く機会を頂戴しました。

冒頭、北モデレーターから「2010年以来RI理事会は、ロータリーの戦略計画を掲げております。ロータリーがこれからもダイナミックな組織でありつづけ、世界中の地域社会に貢献していくための将来への指針となるのがロータリーの戦略計画です。ロータリー躍進の担い手となるのはクラブであります。クラブや地区の活性化の手法として示されたものです。」との戦略計画の明快なご説明がございました。それを受けまして私たちが現状についての課題について発言したのち、北モデレーターが2020年までの5年間を、日本のロータリー活性化のためにどう使うかの重要性や、あくまで主役であるロータリークラブが活性化する為に、コーディネーターや地区からの支援、RIのリソースやツールの活用などによって、クラブが未来への計画を立て、新しい手法を取り入れ、活発な奉仕活動を実践することの重要性について触れられました。

発表が終わったのち、ラビンドランRI会長に呼び止められ、会長の部屋で杉谷理事や近隣諸国の理事も入れて、1時間近くに亘って意見を求められました。RI会長の日本のロータリーに対する関心の深さを改めて思い知らされた次第です。私たち日本のロータリアンが、今後どのように戦略計画を実行していくかについては、世界中のロータリアンが注目しているわけですので、しっかりと結果を出していかないとつくづく思いました。皆様方の一段のご理解とご協力をお願いいたします。ご興味のある方は、研究会の報告書が後日各ガバナー事務所の送られると思いますので、ご覧いただければ幸いです。

ガバナー公式訪問報告

紙面の都合ならびに原稿の到着日により掲載が前後する場合がございますのでご了承下さい。

江別ロータリークラブ

7月14日

7月14日(火) 江別市民会館で午前10時から嵯峨ガバナー、郷ガバナー補佐、長田地区幹事、青木地区

財務委員をお迎えして公式訪問が行われ、2回目の例会という事で会長以下大変緊張しました。

10時から会長・幹事懇談会を開き、その後11時からはクラブ協議会を開催して西脇会長から当クラブの現状、そして現在抱えている問題点などを掲げ、また各委員長からは今年度の事業計画、活動方針を発表させて頂き嵯峨ガバナーからは各委員会の講評を頂き、又的確なご助言も頂きました。

12時30分からは公式訪問例会で、会員増強、退会防止そして女性会員の拡大さらにポリオ撲滅のお話を頂き、会員一同感激した次第であります。

例会終了後に記念写真を撮り無事終了することが出来ました。有り難う御座いました。



蘭越ロータリークラブ

8月31日

8月31日(月) 午前10時、例会場のふれあいプラザ21において嵯峨ガバナー、齋田第6グループガバナー

補佐をお迎えし、会長・幹事懇談会が開催された。

ガバナーから、会員増強について尋ねられ、会長より「会員減少は活動の衰退させるもの、必ず1名以上の拡大を図る」と決意を示した。

奉仕活動では、老人ホーム・児童養護施設の慰問活動や「少年百人一首カルタ大会」への財政援助を継続実施しながらも、小人数クラブの悩みとして、新規事業展開が財政面から厳しく、継続事業も各施設・団体の期待もあり、活動停止は難しいと現状報告した。ガバナーから、「継続事業の撤退は、関係団体に迷惑をかけてはいけぬ。3年計画で撤退方針を伝え、事業を後継する団体への道筋を付ける責任もある。施設・団体が期待しているのであれば自信をもって活動してほしい」とアドバイスがあった。

その後、会員10名が全員出席したクラブ協議会が開催され、活動計画を発表し、ガバナーより各活動の留意点を解り易くアドバイス頂いた。また、「四つのテスト」の起源や意味を解説頂き、加入歴が浅い会員は感銘を受けたところだ。

例会のガバナー卓話では、ロータリーが輝き続けるには、会員増強と加入後のフォローアップが大切である。地区は3年未満会員の新会員合宿セミナーを行う。寝食を共にした仲間は一生の財産、その後の活動の糧になるので対象会員の参加を要請された。これを受け、会長も対象会員全員を参加させることを約束したところだ。

最後に、ガバナーの人柄と話しに全会員が感銘を受け、会員増強を必ずや成し遂げる決意を固めることが出来た有意義な公式訪問でした。



小樽銭函ロータリークラブ

9月10日

来る9月10日(木)例会会場である、和風レストラン銭函大山において、嵯峨義輝ガバナー(岩見沢RC)、斎田義孝ガバナー補佐(小樽南RC)、中村良臣地区幹事(栗沢RC)、長田正文地区幹事(岩見沢東RC)、石川稔ガバナー補佐事務長(小樽南RC)の5名をお迎えしての公式訪問が開催された。

当日は天候にも恵まれ嵯峨ガバナーはじめ、皆様事故もなく予定時刻より早くに到着された。

午前10時からの会長・幹事懇談会においては、我銭函RC会長の筈川長生、クラブ幹事の坂口友朗、直前会長の藤川正二の3名を加えた計8名で和やかな雰囲気の中懇談をさせていただいた。

嵯峨ガバナーからは、会員の退会防止の具体的な事例や小クラブならではの運営方法や工夫など、大変意義のあるお話を頂き、今後のクラブ運営における活力を頂いた。また、今後のクラブ運営に於けるITの活用を積極的に促し、My Rotaryの積極的な活用を促されていた。

引き続き行われたクラブ協議会においては、各委員会の委員長からの本年度事業計画および経過報告をさせていただき、その後懇談のなかで今後のクラブ行事の予定、とりわけ9月19日(土)に控えている小樽銭函RC40周年事業についての説明と御協力の御願いをさせていただき快くご了承頂いた。今後のクラブ事業である、9月27日の40周年記念事業である「銭函歩こう会」や10月10日の小樽銭函RC杯少年野球大会を大成功に納めることをお約束し、同時に10月3、4日に開催される岩見沢の地区大会が大盛況に終了出来ることを互いに誓い合う事が出来、活力ある素晴らしい公式訪問となった。嵯峨ガバナーの精力的な姿勢が我がクラブにも活力を与えて頂き感謝しております。会員増強へ向けて益々精進して参りますありがとうございました。



札幌南ロータリークラブ

9月18日

嵯峨義輝ガバナー、五十嵐 閣地区代表幹事、北市宗三地区財務委員長をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。

10時からの会長・幹事懇談会は当クラブから会長、会長エレクト、幹事そして飛び入りで羽部大仁パストガバナーが出席し、和やかな雰囲気で行われました。

まず、クラブの概要や特徴を説明いたしました。とくに3月にRIに認可された札幌南ライラックロータリー衛星クラブは、日本で2番目であり、ユニークな活動を行っていること、また市内で唯一提唱しているローターアクトクラブは、北海道交流会(11月7日、8日)を担当すること、さらに、女性会員が着実に増えてきていることも紹介いたしました。

ガバナーからはねぎらいのお言葉をいただきました。そして、地区の目標の一つである「My Rotary」への登録の推進については、当クラブの会員である里見英樹会員が地区のIC委員会委員長であることから、100%登録を目指すよう励まされました。

11時からはクラブ協議会が開催されました。五大奉仕委員長、三部門長、衛星クラブ議長から活動計画と実施状況が発表され、ガバナーからそれぞれに大変丁寧な講評をいただきました。

12時30分からの例会では、ガバナーはラビンドランRI会長の個人的経験も混じえ、RIのポリオ撲滅に対する貢献を説かれました。そして前年からの詳細な引き継ぎを行った羽部パストガバナーに謝意を述べ、また地区大会に向けクラブの経験を大いに参考した旨を話されました。

私たちロータリアンの心を奮い立たせる感動的な講話でした。ご多忙の中、公式訪問誠にありがとうございました。



新札幌ロータリークラブ**10月7日**

嵯峨義輝ガバナー、佐藤泰彦ガバナー補佐、地区より長田正文地区幹事、中村良臣地区幹事を迎え、当クラブより宮川会長、南部幹事、山岡会長エレクトの計7名で午前10時から会長・幹事懇談会が予定の1時間を超えて行われた。引き続きクラブ協議会が開催され、各委員会委員長より活動計画ならびに報告がなされた。当クラブの現況等の報告では現会員数が24名であり、ここ数年は大きな変化はないが、クラブの第一目標は会員増強であり、その目標設定にあたっては先の地区大会でのお話があったように、その目標は高めに設定した方が会員の増強により効果的であるとのことで、今年当クラブが32周年とのことから、32名の会員を目標とするよう嵯峨ガバナーから指示を頂いた。また、当クラブは地元プロジェクトとして「月寒川にぎわい川まつり」に第1回目より参加し、今年20回目を無事終了したことや「厚別川の清掃」への継続参加について報告した。当クラブの特徴として、新世代奉仕において交換留学制度には積極的であり最近5年間では受け入れ6名、派遣5名であり、今期はフィンランドへの派遣と同国からの受け入れが各1名であること。また、米山奨学生の受け入れでも最近5年間に延べ5名の奨学生受け入れを行い、現在スイスからの奨学生1名の受け入れを行っている事を報告した。例会運営では年2回の親睦家族会、月1回程度の夜間・移動例会では、職業体験も兼ねた「枝豆狩り」やワイン例会、1泊の温泉例会の計画について報告した。嵯峨ガバナーからはMy Rotaryにクラブ全員が加入し活用するように指導を受け、多くの助言を頂くと同時に当クラブに対して「和やかさがあり、ある意味筋の通った活動を行っており、素晴らしいクラブである」との評価を頂きました。



12時30分からの例会卓話では嵯峨ガバナーより、終了したばかりの地区大会についての裏話を含めた報告がありました。米山奨学生の採用やその制度の重要性について熱く語られ、交換留学制度における国際交流の重要性についてもお話を頂きました。国際ロータリーのラビンドラン会長の生い立ち、人となりについてお話をされ、「ロータリークラブにおける奉仕は現在五大奉仕となっているが、私は家庭奉仕も含め六大奉仕にしてはと思っています。また、われわれロータリアンは高潔であり、心の広い人間であるべきだと思います」とのお話で締めくくられた。

ガバナーを囲んでの写真撮影が出来なかったことが心残りではありますが、嵯峨ガバナーの人となりを大いに感じることが出来た心地よいひとときであったことに感謝いたします。ありがとうございました。

赤平ロータリークラブ**10月13日**

赤平ロータリークラブは、地区大会の余韻が覚めやらぬ10月13日(火)、第2グループ最初のガバナー公式訪問を受けました。当日は生憎の雨となりましたが、嵯峨ガバナー、松原ガバナー補佐、青木地区財務委員、中路地区幹事補佐が当クラブを訪れて下さりました。

会長・幹事懇談会、クラブ協議会、ガバナー公式訪問例会とスケジュールは順調に進み、どの会議も有意義な意見交換の場となりました。

嵯峨ガバナーから、当クラブの特徴である野球部の活動を前面に押し出していくこと、一番人口減となった横須賀市が一番会員の増強に成功したことなど多くのサゼスチョンをいただきました。また、ガバナーから「2510地区は五大奉仕に家庭奉仕を加えた六大奉仕にしませんか」の提案があった時、この日一番の賛同の声が会員からあがりました。

当クラブでは地区大会で表彰された「永年出席100%会員表彰」の記念品をガバナー公式訪問の際に、直接ガバナーから渡していただいています。この日も2名の会員にガバナーから記念品が渡され、感慨も一入の表情でした。

地区大会が終わって一息をつく間もなく当クラブを公式訪問して下さいました嵯峨ガバナーはじめ、御一行の皆様には紙面をお借りして感謝とお礼を申し上げます。



様似ロータリークラブ**10月20日**

10月20日(火) 15時40分公式会場である「アポイ山荘」に嵯峨義輝ガバナー、中村良臣地区幹事、江本勝典地区幹事補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問が実施されました。

午後4時からの会長・幹事懇談会では当クラブの会長、会長エレクト、副幹事合わせて6名で懇談をさせて頂き、様似ロータリークラブの現状等について川崎会長から当クラブの特徴や活動状況の説明がなされ懇談が進みました。引き続き午後5時からのクラブ協議会では各委員会の委員長より自己紹介を兼ねて本年度の方針と活動計画等の説明をして、その後嵯峨ガバナーより講評を頂き、終始和やかな雰囲気の中でクラブ協議会を終了いたしました。午後6時より第2321回のクラブ例会を開会点鐘の後、ロータリーソングを出席者で合唱して和やかな雰囲気での開会となりました。

ガバナーは卓話の中で、ロータリーは地域、組織のリーダーの集まりで、様似町で、この地域で、そして家庭を大切に家庭でのリーダーであり、RCは職業人の集まりから始まった。職業奉仕の意義と会員増強と維持についてお話をユーモアをおりまぜながらお話をされました。行き届かない点が多々あったとは思いますが、公式訪問を無事終了することができ、今後のクラブ活動に向けて、とても参考になる有意義な時間を過ごすことが出来ました。例会終了後、嵯峨ガバナー公式訪問を記念して全員で記念撮影をして、ガバナー公式訪問を終了しました。そして終了後懇親会を開き、カラオケなどを楽しんで頂き終了いたしました。嵯峨ガバナーにはご指導を頂き本当にありがとうございました。

**えりもロータリークラブ****10月22日**

10月22日(木) えりもロータリークラブ第2086回例会が嵯峨ガバナーをお迎えし、公式訪問として開催させて頂きました。

午前10時より、津国会長、築紫会長エレクト兼副会長、齊藤幹事との懇談会の中で、今年度の事業計画と進捗状況を発表しました。

その後、午前11時よりクラブ協議会では、山科元ガバナー補佐が出席をされ、終始和やかな雰囲気の中で、終了いたしました。

午後12時15分点鐘と共に、第2086回目の例会が開催され、例会での卓話では、社会奉仕活動の重要性に触れ、地域に理解をしてもらい取り組みが重要な活動である必要性を話され会員は認識を新たにしていました。

例会終了後、嵯峨ガバナー公式訪問を記念し全員で記念撮影して、ガバナー公式訪問を終了いたしました。

**白老ロータリークラブ****10月28日**

10月28日、58番目の訪問クラブとして朝早くから、嵯峨ガバナー、青木地区財務委員、中路地区幹事補佐、谷岡ガバナー補佐にご訪問をいただきました。ガバナーは以前たびたび白老へおいでになられていたこともあり、会長・幹事懇談会、クラブ協議会と非常に気さくなお話をしていただき参考になりました。

また、ご講話の中では、入会年数の浅い会員が多いということもあって、ロータリーの第1の目的は、会員相互の取引でお互いの利益を。第2は会員相互の親睦であるということ



とを分かりやすくお話し下さり、「理想的なクラブに近づいていると感じている。」というお褒めの言葉もいただきました。今年度の当クラブの社会奉仕事業「キッズツアー」にも、本当に素晴らしい事業だにご理解を示していただきました。お食事は、当クラブの特徴である美味しい例会で、当地自慢の白老牛のすき焼きを召しあがっていただきました。会員一同有意義な時間を過ごさせていただきありがとうございました。

滝川ロータリークラブ

11月5日

11月5日(木)、嵯峨義輝ガバナー、松原章第2グループガバナー補佐、大屋均地区大会実行委員長、江本勝典地区幹事補佐をお招きしてガバナー公式訪問をホテルスエヒロで開催しました。

10時からの会長・幹事懇談会は、滝川ロータリークラブから宮崎英彰会長・山根英治副会長・西井勝明会長エレクト・坂本和繁副幹事・渡辺浩司幹事が出席して松原章第2グループガバナー補佐の司会進行で始まり終始和やかな中で開催されましたが、クラブの特徴や会員の増強など特にMy Rotaryの登録推進について話されました。

11時からの第3回クラブ協議会は、役員・理事・委員長25名が出席、さらに入会3年未満の会員5名がオブザーバーで参加して開催しました。各理事・委員長から各委員会の年間事業計画を発表しましたが、初めての委員長は若干緊張した面持ちでした。最後に嵯峨義輝ガバナーより講評をいただきました。

12時30分からの例会は、嵯峨義輝ガバナーからの卓話をいただき、ロータリークラブの多様化で展開をしている事、またラビンドランRI会長の国際協議会で感動的なスピーチ話と会員増強とポリオ撲滅等のお話をいただきました。最後に「これからも胸を張って、誇りを持ってロータリーライフを送っていきましょう」とメッセージを残して卓話を終えました。

滝川ロータリークラブとしては、とても有意義な公式訪問になりましたことに感謝申し上げます。



岩見沢ロータリークラブ

11月26日

11月26日(木)、ガバナー公式訪問が行われました。最後の公式訪問、「ホーム岩見沢」という事もあり、「やるのか?」という嵯峨ガバナーからのお言葉でしたが、きっちりと会長・幹事懇談会、クラブ協議会、例会と行わせて頂きました。地区よりガバナーの他、郷和平ガバナー補佐、佐々木光司補佐幹事、五十嵐閣代表幹事、北市宗三財務委員長にお越し頂き、会長・幹事懇談会から始まりました。69クラブを回られて外から

当クラブを見られ、「特徴のないクラブ」というご指摘を頂きました。なるほどと感心させられると同時に、予算を含め各委員会事業を再考する機会となりました。その後の協議会では、各委員長からの上期活動報告の後、職業奉仕についてRIの考え方と日本での考え方、捉え方についてお話しを頂きました。また、RI、地区は、クラブがあつてこそ成り立っているもの。しっかりと地域の役に立つクラブとしての活動、運営を行って地区にも意見を頂きたいというお言葉を頂きました。その後の例会は、当クラブのSAAからのご助言もあり夜間例会となっていました。嵯峨ガバナーより講演頂くというよりは、「お帰りなさい、お疲れ様でした」の意味合いを強く出し、今までの公式訪問を画像で振り返りながら、和やかに過ごさせて頂きました。嵯峨ガバナーのホッとされた様子が何よりと感じられたひと時でした。

半年近くを要し70クラブの公式訪問を終えられた嵯峨ガバナー、地区幹事団の皆様、本当にお疲れ様でございました。また、ガバナー輩出クラブとして、ガバナー、地区幹事団を笑顔でお迎え頂いた地区内69クラブの会員の皆様にお礼を申し上げ、報告とさせていただきます。ありがとうございました。



ロータリー、 来し方行く末

連載 第8回

ロータリーは円形ではない。 楕円形である。



国際ロータリー第2510地区

パストガバナー 塚原 房樹
(札幌東RC)

職業奉仕は“Vocational Service”の訳語です。本来ロータリアンにとって職業は“Vocation”（天職）だったはずですが。

この初期ロータリーのプロテスタンティズムの倫理が、日本の伝統的職業観と見事に共鳴して、私たちの先輩は熱狂的にロータリーを信奉しました。職業奉仕こそロータリーの金看板だ、などというのは日本の風土が生んだ言葉です。

長らく日本では、ロータリーとは何かという問いは、職業奉仕とは何かという問いに置き換えられてきました。個人の規範としてロータリー運動を一元論的に形而上の問題としてとらえてきました。

しかしロータリーには、個としての個人の働きと全体としての組織の働きがあります。その働きが均衡するところに組織は成立し維持されます。

「真理は円形に非ず、楕円形である」という内村鑑三の残した好きな言葉があります。円は中心が一つですが、楕円形には中心が二つあります。世の中のことは、中心が一つしかないという考えからは争いが生まれます。常に全体と個、現状維持と改革、といったように二つの中心でものを考えることによって、調和を維持しながら、現状から発展させていくということが可能になるのではないのでしょうか。

ロータリー運動にも2つの中心点があります。1つはロータリアン個人の規範と、もう1つの中心点は集団の規範です。それぞれの規範は、没交渉の中心ではなくて、ロータリアンとRIという関係性の中で繋がっている中心です。個人と全体というものが、切り離せない関係の中にあって、どうすれば我々のロータリーが良くなるのでしょうか。そのためには、個は全体を思い、全体は個を思う必要があります。

ロータリーは創立当初より、たがいの文化的な価値の違いが唱える「否定」を潔しとせず、これを超越することによって障壁のすべてを乗り越える生き方を求めて努力してきました。ロータリーは意見の異なるものと対決するのではなく、これらが持つ価値を止揚＝*アウフヘーベンするものです。

アウフヘーベンとは、違った考え方を持ち寄って議論を行い、そこからそれまでの考え方とは異なる新しい考え方を統合させてゆくこと、より高次元の段階を導くことです。

ロータリアンが自分の職業に誇りを持ち、自分の職業を通じて地域社会に奉仕するという基本的態度をとりながらも、本質的にはロータリー運動は国境を越え、人間を人間として結び付け助け合うようにさせるものです。

職業奉仕は日本のロータリアンの精神的支柱であり、日本ロータリーのアイデンティティーです。職業奉仕の精神をできるだけ堅持しつつRIの方針に協力してゆく道を探りましょう。

最期に元RI理事の言葉をお伝えします。

「そもそもわれわれ日本のロータリアンは、ロータリーがどうあるべきか、今RIがどんな方向へ舵取りをしたいのか、を恒常的にしっかり議論する場を持つ必要があると思うのです」「日本のロータリーの存在価値を示していきたいものです」と述べられていました。

(この原稿は、「ロータリーの源流」に2015年9月24日に投稿したものです)

2016年 韓国・ソウル国際大会のご案内 (最終)

国際ロータリー第2510地区

ガバナー **嵯峨 義輝** (岩見沢RC)

地区RI国際大会推進委員会

委員長 **安孫子 建雄** (江別RC・PG)

ガバナー月信第4号(10月号)でご案内致しましたが、2016年RI国際大会が、2016年5月28日(土)から6月1日(水)まで「韓国で世界とつながろう」をテーマに韓国・ソウルで開催されます。3月31日が第2回の事前登録締め切りとなっており、その後の登録はオンライン登録・現地登録のみとなりますので出来るだけ3月31日までにご登録下さいませよう宜しくお願い申し上げます。

新千歳から直行便がありますので、これまで国際大会に参加したことがない方も初参加できる絶好のチャンスです。ロータリアンならどなたでも参加できるイベントですので新会員の方々も是非、ご登録下さい。現在、韓国・ソウルのホテルはかなり混雑して宿泊が難しい状況となっておりますので、ご参加を予定されている方は早めにお手配の程宜しく宜しくお願い申し上げます。

また、北海道ナイトに参加を予定されている方は、(株)日本旅行北海道・旭川支店で受付けておりますのでお問合せ下さい。

RI国際大会ソウル 3泊4日 5月27日(金)～5月30日(月)

日次	月日 (曜)	地名	現地時間	交通機関	日 程	朝食	昼食	夕食
1	5月27日 (金)	新千歳空港発 ソウル着	12:15頃 14:15頃 17:10頃	KE766 専用車	空港へご集いいただき出発式を行います 新千歳空港より直行ソウルへ *ご希望者は9:00発/12:00着便にてご案内いたします(到着後ホテルへ送迎後フリータイム・夕食なし) ソウル市内のホテルへ (ソウル泊)	—	機内	レストラン
2	5月28日 (土)	ソウル	18:00		終日自由行動 北海道ナイト開催(ロワジュールホテルソウル予定) (ソウル泊)	ホテル	—	—
3	5月29日 (日)	ソウル			国際大会参加「KINTEX」へ往復送迎 終日自由行動 (ソウル泊)	ホテル	—	—
4	5月30日 (月)	ソウル ソウル発 新千歳空港着	午前 18:30頃 21:10頃	専用車 KE795	市内観光予定 直行新千歳へ 着後解散 *ご希望者は10:10発/13:00着便にてご案内いたします(食事・観光なし)	ホテル	レストラン	機内

■ 利用予定航空会社：KE＝大韓航空

■ スーペリアクラス：ロワジュールホテルソウル明洞 指定(先着50室限定)又

ソラリア西鉄ホテルソウル明洞・ベストウエスタンプレミア国都・ロッセシティ明洞 等 いずれか

2名様1室：157,800円 1名1室：191,800円 燃油サーチャージ(目安1,000円)、空港税(目安3,800円)別途
デラックスクラス：インターコンチネンタルホテルCOEX(江南地区) 指定(先着33室限定)

2名様1室：167,800円 1名1室：204,800円 燃油サーチャージ(目安1,000円)、空港税(目安3,800円)別途

■ 往路 午前便選択の場合：9,000円引 復路 午前便選択の場合：5,000円引

■ 北海道ナイト：10,000円

【お問合せ・お申込み先】 (株)日本旅行北海道・旭川支店 電話 0166-26-0401 FAX 0166-25-4749 (担当: 山崎)

ソウル国際大会参加 2泊3日 5月28日(土)～5月30日(月)

日次	月日 (曜)	地名	現地時間	交通機関	日 程	朝食	昼食	夕食
1	5月28日 (土)	千歳空港発 ソウル着	08:55 11:55	KE796 送迎車	大韓航空にてソウルへ 到着後、大会会場にて受付(予定) *北海道ナイト開催 (ソウル泊)	-	機内	-
2	5月29日 (日)			送迎車	終日：自由行動 「国際大会参加」 (ソウル泊)	○	-	-
3	5月30日 (月)	ホテル ソウル発 千歳空港着	15:00頃 18:30 21:10	送迎車 KE795	終日：自由行動 ご希望によりオプションツアーを賜ります。 *12時までお部屋はご利用出来ます。 大韓航空にて千歳空港へ	○	-	機内

※上記は2016年1月20日の予定であり交通機関の都合により変更になる場合がございますので予めご了承下さい。

予定金額 お一人様 138,000円 (ツイン 2名1室利用)
168,000円 (シングル 1名1室利用)

【利用ホテル】 ソウル・コリアホテル(☆☆☆☆ クラス)
ソウルの中心で明洞地区にも徒歩圏内で交通に便利です。

- 設定人数：40名様
- 予約締切：2月25日(木) ※ 締切日前に、予約状況(ホテル、航空券)により
締め切らせて頂く場合がございますのでご了承下さい。

〈旅行費用に含まれるもの〉

- ・航空料金：大韓航空(エコノミークラス)
- ・食事代：日程表に記載。朝食2回、機内食
- ・団体行動の際は現地係員がご案内致します。
- ・宿泊代：ソウル 2泊
- ・送迎代：日程表の送迎費用

〈旅行費用に含まれないもの〉

- ・国際大会登録料、北海道ナイト、千歳・ソウル空港諸税等(約3,980円)、燃油費用(約600円)
- ・朝食以外の食事代、オプションツアー ※ 1月20日現在の金額で変更になる場合もございます。
- ※ 大会登録、北海道ナイトはご自身でご予約をお願い致します。

ご案内事項：

- ・2泊3日のコースは催行を決定しております。3泊4日をご希望の方はお問合せください。
- ・尚、ソウル・バンコクのコースは、スケジュールの都合で催行を中止とさせて頂きました。

【お申込先・お問い合わせ】

(株)産経海外旅行 札幌市中央区北1条西7丁目 タキモトビル4階
電話 011-271-5388 FAX 011-271-5621 (担当：齊藤・矢田目)

RI第3700地区 大韓民国

大邱地域・地区大会のご案内

国際ロータリー第2510地区

代表幹事 **五十嵐****閣** (岩見沢RC)

当RI第2510地区とRI第3700地区は、2004年に姉妹提携を結び、文化交流・親善の促進をおこなっており、その一環として、相互の地区大会にガバナーを始めとして第2510地区会員の参加をいただき友好親善を深めてまいりました。

昨年10月に岩見沢市にて開催されました当地区大会には、RI第3700地区 孫昌銖総裁を始め27名のロータリアンの方々にご出席をたまわりました。つきましては、本年4月22日(金)～23日(土)開催されますRI第3700地区大会に当地区からも表敬訪問をし、友好親善を果たすべく計画を作成いたしました。

当地区ロータリアンの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日次	月日 (曜)	地名	現地時間	交通機関	日程	朝食	昼食	夕食
1	4月21日 (木)	新千歳空港発 釜山空港着	12:35 15:15	KE772	出国手続きを済ませ一路釜山へ 入国手続きを終了後 専用車にて 龍頭山公園を観光後ホテルへ ホテルチェックイン後 釜山のふぐ名店『クムスポックク』へ 故朴大統領も訪れたことが在る名店にて食事 (釜山泊)	—	機内	韓国式 ふぐ会席
2	4月22日 (金)		08:30 16:30 18:00	専用車	朝食 ホテルにて 専用車にてホテル出発 慶州へ 慶州観光(仏国寺・石窟庵・天馬塚 等) 観光後 専用車にて大邱へ チェックインを済ませ晚餐会場の インターブルゴへ(同じ敷地) (大邱泊)	ホテル	慶州	晚餐会 参加
3	4月23日 (土)	東大邱駅発 ソウル駅着 仁川空港着 仁川空港発 新千歳空港着	08:30 12:45 13:15 13:53 15:44 16:30 18:30 21:10	専用車 KTX272号 特別席 KE795	朝食 ホテルにて 『国際ロータリー第3700地区大会出席』 昼食後 専用車にて東大邱駅へ 韓国高速鉄道にてソウルへ(特等席) 着後 ガイド出向かえ 韓国地下鉄 A'REXにて仁川空港へ 着後 出国手続きを済ませ本道へ 入国手続きを済ませ 無事解散	ホテル	弁当	機内

※この行程表は最も新しい資料にもとづいて作成されておりますが、交通機関の都合により発着時間の変更が生ずることがあります。

上記スケジュールは、1月19日現在のRI第3700地区案内に基づき作成しておりますが、変更になる場合もありますので、予めご了承願います。

宿泊ホテル

4月21日 釜山 釜山ロッテホテル 772 gaya-daero Busanjin-BUSAN 電話82-51-8105110

4月22日 大邱 大邱インターブルゴアネックス 300 Manchon-dong soosung Daegu.KOREA 電話82-53-9520808

募集人員30名 お一人様費用(2名部屋) **132,000円** 燃油サーチャージ料600円 国内海外空港税4010円含む(平成27年12月現在)
お一人様費用(1名部屋) **157,000円** 燃油サーチャージ料600円 国内海外空港税4010円含む(平成27年12月現在)

旅行代金に含まれるもの ①航空券代(エコノミー) ②専用バス ③宿泊代 ソウル/大邱2泊 ④食事 朝食2回 昼1回 夜1回
(6500円程度) ⑤KTX特別指定席(1ヶ月前発売) ⑥現地ガイド料金 ⑦上記に記載平成27年12月末現在の諸費用

旅行代金に含まれないもの ①4/21 会食飲み物代 ②4/22晚餐会 4/23大会費用・弁当(②は相互免除の為費用は掛かりません)

※最低催行人員20名(燃油サーチャージ及び空港税に変動があった場合差額徴収をさせていただきます。)

ビジネスクラス利用者様 ビジネスクラスご利用の方は別途お申願います。(但し席に限りがありますのでご要望に添えない場合があります)

※お問い合わせ・お申込はガバナー事務所迄お願いします。(お申込締切日3月10日)

ソウルでの「第17回ロータリー国際囲碁大会」のご案内

RI公認の親睦団体であるロータリー囲碁同好会（GPFR/Go Playing Fellowship of Rotarians）主催の「第17回ロータリー国際囲碁大会」が5月30日（月）に、韓国・ソウルで開催されるRI国際大会（5月28日～6月1日）に合わせて同じKINTEX会場で行われます。

私どもGPFRは2000年3月より毎春に日本、韓国、台湾の順で囲碁対抗戦を繰り広げており、碁盤を通じて国際奉仕、親睦活動を進めています。昨年ハワイに米国支部が誕生し、今回のソウル大会で初めて4支部ロータリアンによる「囲碁チャンピオン」を決することになりました。

碁盤を通じて交流を図る会ですので、クラブ内の囲碁好きの会員皆様に大会参加を呼びかけて頂きますよう、ご案内をお願い申し上げます。

大会は上級者（五段以上）、中級者（三段～四段）、初級者（二段以下）の3クラス制の早碁戦です。大会参加はメークアップ（国際奉仕活動）になります。

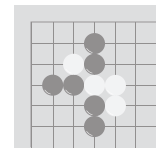
<記>

日 時 2016年5月30日（月） 09：30 開会式 18：30 表彰式及び懇親会

会 場 韓国・ソウルRI国際大会 会場KINTEX内

主 催 ロータリー囲碁同好会（GPFR）

参加料 15,000円（昼食代懇親会費、賞品、おみやげ交換等含む）



大会参加のお申し込みは、氏名、地区、クラブ名、年齢（女性は不要）、級段位を明記して、所属ロータリークラブを通じて、上記のGPFR日本支部宛にFAX（03-3452-1652）でご連絡下さい。参加要領等を返信いたします。大会参加のための団体旅行を募集しています。

団体旅行の申し込み締め切り日は3月30日（水）、個人参加の締め切り日は5月7日（土）です。個人、ご家族の参加も歓迎いたします。

お問い合わせがありましたら、下記FAXにてお願い致します。

GPFR日本支部幹事 太田 清文（東京RC）

Rotary 
ロータリー囲碁同好会

RI 認 証
Go Playing Fellowship of Rotarians

日本支部

104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館1階
国際ロータリー第2580地区ガバナー事務所内

名誉会長 田中 毅（2680地区PDG）

会 長 石井 良昌（2680地区PDG）

日本支部長 新藤 信之（2750地区PDG）

GPFR日本支部へのご連絡は下記の専用FAXへお願いします

FAX：03-3452-1652

HP：http://www.gpfr.jp

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者メジャードナー

滝川RC	神部 洋史	会員(12回)	12月18日	函館セントラルRC	伊藤 道雄	会員(11回)	12月9日
滝川RC	中垣 陽一	会員(11回)	12月18日	函館セントラルRC	鍋谷 操子	会員(15回)	12月9日

■米山功労者

羽幌RC	實藤 吉信	会員(4回)	12月7日	札幌幌南RC	長沢 祐純	会員(1回)	12月15日
滝川RC	山根 英治	会員(3回)	12月18日	札幌幌南RC	戸井 敏夫	会員(7回)	12月15日
滝川RC	柳 清二	会員(2回)	12月18日	小樽南RC	東 慶広	会員(1回)	12月22日
岩見沢RC	森居 清	会員(4回)	12月16日	小樽南RC	廣部 隆夫	会員(2回)	12月22日
岩見沢RC	中村 興治	会員(2回)	12月16日	小樽南RC	廣瀬 保男	会員(4回)	12月22日
岩見沢RC	西野 太郎	会員(2回)	12月16日	小樽南RC	工藤左千夫	会員(1回)	12月22日
岩見沢RC	嵯峨 義輝	会員(6回)	12月16日	小樽南RC	岡崎 芳明	会員(3回)	12月22日
栗沢RC	西島 義孝	会員(1回)	12月28日	小樽南RC	坂口 榮一	会員(1回)	12月22日
札幌RC	伊藤 義郎	会員(5回)	12月15日	小樽南RC	佐藤甚兵衛	会員(3回)	12月22日
札幌はまなすRC	光川 眞量	会員(4回)	12月22日	余市RC	荒木志津子	会員(2回)	12月17日
札幌はまなすRC	坂田 淳二	会員(1回)	12月22日	余市RC	谷川 淑郎	会員(9回)	12月17日
札幌西RC	石丸修太郎	会員(5回)	12月25日	千歳RC	村上 倫行	会員(1回)	12月25日
札幌西北RC	小林 秀樹	会員(5回)	12月18日	室蘭東RC	佐々木勝男	会員(2回)	12月24日
札幌西北RC	小川 眞治	会員(5回)	12月18日	室蘭東RC	富田 孝夫	会員(4回)	12月24日
札幌手稲RC	肘井 博行	会員(3回)	12月24日	室蘭北RC	中田 孔幸	会員(1回)	12月28日
札幌手稲RC	中村 和雄	会員(2回)	12月24日	函館RC	森川 順治	会員(2回)	12月24日
札幌東RC	川幡 宏一	会員(2回)	12月28日	函館セントラルRC	浅野 翼	会員(1回)	12月9日
札幌東RC	小田切房之	会員(7回)	12月28日	函館東RC	宮崎あけみ	会員(5回)	12月15日
札幌東RC	大谷 荘一	会員(1回)	12月28日	苫小牧東RC	小林 忠男	会員(4回)	12月17日
札幌東RC	関堂 勝幸	会員(1回)	12月28日	苫小牧東RC	小幡 直樹	会員(1回)	12月17日
札幌東RC	梅沢 英行	会員(1回)	12月28日	苫小牧東RC	松原 實	会員(2回)	12月17日
札幌東RC	山口 史朗	会員(1回)	12月28日	苫小牧東RC	長岡 英幸	会員(1回)	12月17日
札幌東RC	吉山 八郎	会員(9回)	12月28日				

■米山功労クラブ

岩見沢RC	32回	12月16日	札幌東RC	43回	12月28日
滝川RC	31回	12月18日			

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■メジャードナー

余市RC	谷川 淑郎	会員(レベルI)	12月17日	函館セントラルRC	伊藤 道雄	会員(レベルI)	12月16日
------	-------	----------	--------	-----------	-------	----------	--------

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

赤平RC	仙田 哲夫	会員(1回)	12月24日	千歳RC	藤本 敏廣	会員(3回)	12月18日
滝川RC	柳 清二	会員(3回)	12月18日	千歳RC	福田 裕子	さん(1回)	12月18日
岩見沢RC	仲屋 茂裕	会員(2回)	12月17日	千歳RC	福田 武男	会員(7回)	12月18日
栗沢RC	林 義明	会員(1回)	12月28日	千歳RC	川端 清	会員(3回)	12月18日
札幌西北RC	西岡 憲廣	会員(7回)	12月18日	千歳RC	滝澤 順久	会員(6回)	12月18日
札幌手稲RC	福井 敬悟	会員(3回)	12月24日	恵庭RC	村上 利雄	会員(1回)	12月8日
札幌手稲RC	山地 庸夫	会員(6回)	12月24日	静内RC	川島 伸二	会員(1回)	12月4日
札幌東RC	関堂 勝幸	会員(5回)	12月21日	函館RC	森川 順治	会員(4回)	12月24日
札幌東RC	山中 樹	会員(2回)	12月21日	森RC	石山 嘉治	会員(1回)	12月2日
札幌東RC	吉山 八郎	会員(4回)	12月21日	森RC	吉田 豊	会員(1回)	12月2日
札幌清田RC	宮村 素子	会員(1回)	12月24日	函館セントラルRC	南 茂樹	会員(3回)	12月16日
札幌清田RC	高橋 宣充	会員(1回)	12月24日	函館セントラルRC	坂下 賢二	会員(7回)	12月16日
札幌幌南RC	土谷 享	会員(4回)	12月18日	函館東RC	宮崎あけみ	会員(2回)	12月15日
札幌真駒内RC	齋藤 康嗣	会員(5回)	12月18日	白老RC	熊谷 威二	会員(1回)	12月25日

■ポール・ハリス・フェロー

羽幌RC	端 忠勝	会員	12月9日	余市RC	本多 宏行	会員	12月17日
羽幌RC	工藤 盛	会員	12月9日	室蘭北RC	徳永 賢二	会員	12月28日
岩見沢RC	西方 洋昭	会員	12月17日	白老RC	原口 一雄	会員	12月25日
岩見沢RC	齋藤 誠一	会員	12月17日	白老RC	小西 秀延	会員	12月25日
札幌東RC	遠藤 正史	会員	12月21日	白老RC	久保田修一	会員	12月25日
札幌東RC	井上 善博	会員	12月21日	白老RC	若林 尚文	会員	12月25日
札幌東RC	若原 秀明	会員	12月21日	苫小牧東RC	青山 晴美	会員	12月22日

ポリオプラス 委員会より

野生型ポリオは昨年より確実に減ってきています。しかし今撲滅の手を休めると又増えてくる事になります。今期の募金目標額は会員1人30ドルとなっておりますが、金額は基よりお願いしたい事は地域の皆様へポリオ撲滅の意義と募金を行うキャンペーン活動です。是非昨年同様各クラブの皆様には地域に対するポリオ撲滅のキャンペーンを計画をお願い申し上げます。

END
POLIO
NOW

野生型ポリオ症例数

2016年1月13日現在

ポリオ	国	2015年12月	2014年同時期	2014年度合計	麻痺が発生した最後の年月日
常在国	パキスタン	52	296	306	2015年12月2日
	アフガニスタン	19	28	28	2015年11月19日
常在国 以外	ナイジェリア	0	6	6	2014年7月24日
	ソマリア	0	5	5	2014年8月11日
	赤道ギニア	0	4	5	2014年5月3日
	イラク	0	2	2	2014年4月7日
	カメルーン	0	5	5	2014年7月9日
	シリア・アラブ共和国	0	1	1	2014年1月21日
	エチオピア	0	1	1	2014年1月5日
世界合計		71	349	359	

【パキスタン ポリオ撲滅に向け推進!】

パキスタンは2014年に急増したポリオ(306例)に対し、政府による実施体制を強化し1月13日発表現在の野生型ポリオウイルスによる麻痺患者数は52例(昨年同期比296例)にまで減少した。残りは、パキスタンとアフガニスタン2ヶ国のみ、発生地域は両国国境沿いのFATAと云う部族地域主で、ポリオ患者の70%を占めています。

世界ポリオ撲滅推進運動において、2018年までに必要な資金総額の見直しが行われました。

世界でのポリオ撲滅達成には、(2013年度ワクチンサミット時の約束額及び寄付見込み額を)更に15億ドルが必要であると発表されております。また、国際ロータリーは2016~18年度のパキスタンでのポリオ撲滅には、なお3億5,070万ドルを要する見込みと発表しています。(財団ニュース1月号を参照)

嵯峨ガバナ一年度後半に入りました。各クラブ様には、ポリオ撲滅推進寄付活動のご協力に感謝申し上げます。後半に入り年度の締めに向かいます。益々のご協力をお願い致します。

文庫通信



(340号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

[下記申込先：ロータリー文庫]

「ロータリー精神・Fire-Side Meetingで学ぶ」 塚原房樹 2015 1p (D.2510月信)

「ついにやって来た職業奉仕の終焉」 塚原房樹 2015 3p (D.2510月信)

「倫理運動としてのロータリー」 三木 明 2015 1p (D.2680月信)

「心を育て、人を育てるロータリー」 三木 明 2015 1p (D.2680月信)

「国際ロータリーが期待するロータリークラブ像」 松宮 剛 2015 14p (D.2670地区大会記録)

「中華民国扶輪米山會報告」 林 維宏 2014 1p (第四回台日国際扶輪親善會日台ロータリー親善會議)

「人間の『いのち』を考える～生命倫理学、人類遺伝学、遺伝臨床の立場から」 千代豪昭 2015 20p (D.2670・2680RYLAセミナー報告書)

「いのち～つながりの中で存在する“いのち”」 山口 徹 2015 20p (D.2670・2680RYLAセミナー報告書)

「リーダーの心」 深川純一 2015 14p (D.2670・2680RYLAセミナー報告書)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日

新会員のご紹介 (敬称略)



滝川RC
入井 浩樹
12月3日入会
車両販売・整備業



滝川RC
桜井 寿紀
12月3日入会
板金金物工事業



室蘭北RC
國田 雅弘
1月5日入会
不動産仲介・売買業



室蘭北RC
藤井 徹也
1月5日入会
金属プレス製品製造業



滝川RC
星野 秀人
1月7日入会
電気工事業



滝川RC
前野 史賀
1月7日入会
保険代理業



札幌北RC
鯉谷 祐一
1月8日入会
石材販売



恵庭RC
野呂 雅樹
1月20日入会
信用金庫

～米山奨学生のご紹介～

ロータリーとの出会い

肖 鋳 (札幌モーニングRC)



中国からの肖鋳(ショウコン)と申します。2013年3月に来日して、今は北海道大学大学院文学研究科修士2年です。今年の4月からロータリーの奨学生になって、そろそろ1年間になりました。学校と地区の選考に合格してロータリーの奨学生になるのは、自分にとっては幸運なことで、学業を支える大切なものです。例会とクラブの活動に参加する際に、先生たちと話をし、皆さんと仲良くなって、先生たちから色々な勉強を頂きました。ロータリーの方々間の友情、社会に対する責任感を深く感動させました。

自分はロータリーの方々から恩恵を受けて、日本のために何か有意義なことをやりたい気持ちを持って、ロータリークラブ先生たちと一緒に藻岩山へ行って、カミネコン植樹活動に参加しました。これからはもつと日本のボランティア活動に参加したいと思います。

ロータリーのおかげで、学校の研究も順調に進めました。

皆さん、これからもよろしくお願ひします。

お詫びと訂正

ガバナー月信1月号2頁に掲載の「第44回ロータリー研究会の報告」の寄稿を頂いた酒井正人様の肩書が「地区職業奉仕委員会地区研修リーダー」となっておりましたが、正しくは「地区研修委員会 研修リーダー」でした。謹んでお詫び申し上げますと共に訂正させていただきます。

地区カレンダー（2月・3月）

2月 平和と紛争予防/紛争解決月間	
1 (月)	
2 (火)	
3 (水)	
4 (木)	
5 (金)	
6 (土)	第9グループIM (伊達)
7 (日)	
8 (月)	
9 (火)	
10(水)	
11(木)	建国記念の日
12(金)	
13(土)	財団学友総会 (札幌)
14(日)	
15(月)	
16(火)	
17(水)	
18(木)	
19(金)	
20(土)	2016-17地区ガバナー補佐研修セミナー / 地区チーム研修セミナー (札幌)
21(日)	
22(月)	
23(火)	
24(水)	
25(木)	
26(金)	
27(土)	
28(日)	
29(月)	

3月 水と衛生月間	
1 (火)	
2 (水)	
3 (木)	
4 (金)	
5 (土)	~6(日) 2016-17会長エレクト研修セミナー (札幌)
6 (日)	2016-17地区財団セミナー (地区補助金管理セミナー)・地区米山セミナー (札幌)
7 (月)	
8 (火)	
9 (水)	
10(木)	
11(金)	
12(土)	
13(日)	
14(月)	
15(火)	
16(水)	
17(木)	
18(金)	
19(土)	第4・第5グループ合同IM(札幌)
20(日)	
21(月)	春分の日
22(火)	
23(水)	
24(木)	
25(金)	
26(土)	
27(日)	第6グループIM(小樽)
28(月)	
29(火)	
30(水)	
31(木)	

2016年2月のロータリーレート 1ドル 120円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例数	会 員 数				出席率
			2015.7.1	2015.12.31	増 減	内女性	
1	深 川	3	34	36	2	3	89.55
	羽 幌	4	43	45	2	2	73.91
	妹背牛	3	11	11	0	0	78.78
	留 萌	3	38	41	3	3	77.73
	小 計		126	133	7	8	79.99
2	赤 平	4	26	26	0	0	78.50
	芦 別	4	37	36	-1	2	83.07
	砂 川	3	37	39	2	0	94.02
	滝 川	3	78	85	7	4	81.00
	小 計		178	186	8	6	84.15
3	美 唄	4	32	32	0	0	86.55
	江 別	4	31	32	1	1	90.63
	江別西	4	26	24	-2	3	86.50
	岩見沢	3	73	75	2	0	91.18
	岩見沢東	4	22	23	1	3	89.72
	栗 沢	3	22	22	0	1	95.50
	栗 山	4	22	27	5	5	99.04
	当 別	4	27	27	0	0	81.40
	小 計		255	262	7	13	90.07
4	札 幌	3	117	127	10	2	97.54
	札幌はまなす	4	16	16	0	2	95.31
	札 幌 北	3	34	38	4	3	92.79
	札幌モーニング	3	39	39	0	0	76.19
	札 幌 西	4	51	51	0	8	83.22
	札幌西北	3	32	32	0	3	83.20
	札幌手稲	3	37	38	1	4	88.45
小 計		326	341	15	22	88.10	
5	札 幌 東	4	122	123	1	0	96.80
	札幌清田	4	16	15	-1	4	100.00
	札幌幌南	3	70	70	0	13	100.00
	札幌真駒内	3	24	22	-2	4	98.40
	札 幌 南	3	79	81	2	0	98.77
	札幌大通公園	4	13	13	0	1	55.74
	新 札 幌	3	24	24	0	3	88.89
小 計		348	348	0	25	91.23	
6	岩 内	4	19	21	2	1	81.78
	倶知安	3	39	40	1	5	71.60
	小 樽	4	74	75	1	2	80.61
	小樽南	4	73	75	2	3	83.73
	小樽銭函	3	19	18	-1	1	78.00
	蘭 越	4	10	10	0	0	100.00
	余 市	3	48	48	0	5	88.10
小 計		282	287	5	17	83.40	

12月出席率・ 会員増減数	クラブ数	70クラブ
	期首会員数	2,526人
	当月末会員数(女性)	2,600人(138人)
	増加会員数	74人
	当月平均出席率	83.96%

グループ	クラブ名	例数	会 員 数				出席率
			2015.7.1	2015.12.31	増 減	内女性	
7	千 歳	4	54	56	2	4	90.78
	千歳セントラル	4	38	38	0	4	72.44
	恵 庭	3	46	49	3	2	95.35
	北 広 島	4	17	18	1	1	87.50
	長 沼	3	19	18	-1	3	70.50
	由 仁	4	8	9	1	0	61.11
小 計		182	188	6	14	79.61	
8	えりも	4	18	19	1	1	92.10
	三 石	3	13	13	0	1	76.66
	様 似	4	21	21	0	1	74.40
	静 内	3	64	68	4	1	90.00
	浦 河	4	22	24	2	0	88.54
	小 計		138	145	7	4	84.34
9	伊 達	4	55	57	2	0	87.60
	室 蘭	4	30	36	6	0	59.70
	室蘭東	3	34	35	1	0	84.80
	室蘭北	4	40	39	-1	3	70.51
	登 別	3	32	32	0	1	84.38
	洞 爺 湖	3	9	9	0	0	83.30
小 計		200	208	8	4	78.38	
10	函 館	4	82	86	4	1	77.19
	函館亀田	3	41	42	1	4	95.00
	森	4	33	34	1	0	88.20
	七 飯	4	17	17	0	0	67.20
	長万部	3	8	8	0	0	91.60
	函館セントラル	4	22	22	0	2	74.41
小 計		203	209	6	7	82.27	
11	江 差	4	12	12	0	1	68.00
	函館五稜郭	4	51	50	-1	0	89.08
	函 館 東	4	47	48	1	5	78.79
	函 館 北	4	21	21	0	0	92.50
	北 斗	4	13	13	0	0	53.80
	松 前	2	4	4	0	0	75.00
小 計		148	148	0	6	76.20	
12	白 老	3	33	33	0	2	78.30
	苦小牧	3	51	54	3	2	84.86
	苦小牧東	4	27	28	1	6	83.93
	苦小牧北	4	29	30	1	2	93.75
	小 計		140	145	5	12	85.21
合 計		2,526	2,600	74	138	83.96	

※札幌幌南RCには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数13名(内女性会員8名)を含む

第5グループ各クラブ紹介

第5グループには札幌東、札幌南、札幌幌南、札幌真駒内、新札幌、札幌清田、札幌大通公園の7クラブがそれぞれ特徴のある活動をしております。

札幌東 RC

第5グループの中でも122名の会員を抱える最大規模のクラブとして存在感を示しております。これ程の大所帯となると若年者から中高年者まで年齢の幅も広く、職業分類もかなり多種多様に複雑多岐に涉っている様です。従って、有能な人材が綺羅星の如くいるなかでも、特に、塚原PGによる年6回の卓話を会員はロータリーの真髄に触れる機会として大変楽しみにしているとの事です。池田会長の誠実に優しさに溢れる人柄は会員を引き付けて止まない様です。

札幌南 RC

創立60年の歴史と伝統を受け継いできた精神的基盤である「なごやぎの精神」がクラブのモットーとしております。これは穏やかで睦ましい心とおおらかさ、かつ節度ある振る舞いと理解されております。本間会長が先頭に立って熱心にロータリー活動に取り組んでいるところから、メンバー全員で、来年度は60周年の記念事業の企画と、多才な人材が豊富にいる中、特にキャパシティの大きさに定評のある武部實ガバナーエレクトを擁立して、来るべき本番に向け、着々と準備を進めている所です。

札幌幌南 RC

羽部直前ガバナー、和田直前ガバナー補佐を輩出して地区大会等、地区の重要行事を立派に遣り遂げた実力のあるクラブです。加藤会長の卓越した指導により交換留学生の事業を熱心に取り組んでおり、米国から男子高校生を受け入れ、札幌からは女子高校生をオーストラリアに向けて派遣しております。又45周年記念事業としてスタートした「親子暗唱大会」「暮らしや医療の無料なんでも相談会」が毎年継続的に行われております。

新札幌 RC

交換留学生の事業を展開しており、江別市内の女子高校生をフィンランドへ派遣中で、更に年内にフィンランドの高校生を交換留学生として受け入れ準備を進めております。宮川会長のリーダーシップにより社会奉仕や白石区にぎわい川まつりでの飲料販売協力や白石こどもワンダーランドでの運営協力など地域密着の社会貢献を積極的に展開しております。

札幌清田 RC

殆どの会員が会長幹事経験者であり、少数精鋭の中で女性会員の入会を積極的に促進しております。従って重要なポストで女性会員が立派に活躍しております。高橋会長と森幹事は若さが溢れ少数とはいえ会員同士の連携が大変すばらしいクラブです。

札幌大通公園 RC

若さを武器に毎年大通公園にてポリオ撲滅街頭募金活動、街頭献血活動など汗を流す奉仕活動を実践しております。小笠原会長のロータリーに対する熱意はクラブ運営にも反映されております。例えば会長自ら手作り例会を目指し、月に一度各自が飲み物、食べ物を持ち寄り「ほっとパーティー」と題して「ほっと、心が和む」パーティーを開いております。不要な経費を使わず、可能な限り会費を安く積極的に若い会員を増強する工夫をしております。

札幌真駒内 RC

昨年設立40周年を迎え、クラブのメンバーが一致結束して40周年の記念事業を成功裏に終了しております。これを機会に当クラブがさらに発展する事を会員は心に誓った所です。当クラブの特長は国内、国外のロータリークラブと活発な交流を継続している事です。例えば台湾の台北大同ロータリークラブと姉妹クラブの関係にあり、京都桂川ロータリークラブと沖縄県石垣島の石垣ロータリークラブとはそれぞれ友好クラブの締結をして、他地域のロータリアンと密接な交流を重ねる事によってロータリーの友情と善意の輪が広がっております。小規模クラブながら山田会長の見識と丸山PGの適切な示唆により全員参加型のクラブ運営がされております。

表紙の解説

■ 北海道立真駒内公園

札幌市の中心部から南に約8kmに位置し、南北1.7km、面積85haのほぼ平坦な地形で豊平川と真駒内川が園内を流れ、西南の丘陵部には豊かな自然林が繁茂し、四季折々の自然の風景を楽しむことができます。

この公園内に真駒内屋外競技場（現：真駒内セキスイハイムスタジアム）があります。

競技場は1972年に開催された第11回冬季オリンピック札幌大会

の開会式とスピードスケート競技が行われた競技場で、この競技場内にある聖火台は、当時の札幌市内5つのロータリークラブが一緒になって「札幌オリンピック冬季大会ロータリー聖火台建設委員会」を発足し数年に渡って資金を集め、寄贈したものです。

現在、公園の広場や森林区は一般に解放され、散歩や各学校の遠足などに広く利用されています。また競技場は、冬期間はスケート場、夏期間はテニス、フットサルコートとして各種大会のほか、一般にも広く解放されています。

その区域をクラブ名に持つ、札幌真駒内ロータリークラブは、社会奉仕事業の一環として折に触れ桜の木などを姉妹クラブや友好クラブのメンバーと植樹し、ロータリークラブと真駒内公園とのつながりを持ち続けています。

